

学位論文審査結果の要旨

博士課程 甲・乙	第 号	氏 名	大橋 昌尚
審 査 委 員		主 査 氏 名	柳井 博幸
		副 査 氏 名	中里 雅光
		副 査 氏 名	浅田 祐二郎
[論文題名] Prospective study of the MD-twin score for antepartum evaluation of monochorionic diamniotic twins and its correlation with perinatal outcomes			
[要 旨] 宮崎大学産婦人科教室でこれまで後方視的研究として TTTS 症例を除く一絨毛膜二羊膜性 (MD) 双胎の周産期予後を5項目による MD twin score での評価法の有用性を報告してきた。今回、大橋らは13年間の研究期間中に112組の MD twin を前方視的に MD twin Score で管理評価した。MD-twin score は、両児の体重差 (25%以上)、羊水量差、臍帯付着異常、胎児水腫および胎児心拍数モニタリングの5項目を評価した。結果、流産および奇形、26週未満の TTTS、妊娠26週以前症例を除く90組に MD-twin score を適用し、スコア3点は11組、スコア2点以下は79組であった。予後不良例は、3点群で4組 (36.4%) に認めしたが、2点以下群では認めなかった。予後不良を示した4組4児の詳細は、新生児循環不全による脳性麻痺と3パーセントマイル未満の胎児発育不全児であった。このように、前方視的検討でも MD-twin score 3点を閾値とする評価法の有用性が示され、更に胎児発育不全児を加える事で、予後の改善が大いに期待されることが示された。 以上の結果は MD 双胎の周産期予後の改善する重要なスコアであり、今後の新生児医療に大いに貢献するものであり、学位論文に値する成果と判断した。			